

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	歴史B(0214)	
科目基礎情報							
科目番号	0073			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	『歴史資料館 日本史のライブラリー』（東方法令出版株式会社）						
担当教員	中村 泰朗						
到達目標							
・日本史に関する専門用語や知識を習得する。 ・日本伝統文化がどのように形成されたのか、その大きな流れを理解する。 ・日本および青森県の伝統文化について、テーマごとに詳しく学ぶ。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	日本史に関する専門用語や知識を理解し、説明できる。		日本史に関する専門用語や知識を理解できる。		日本史に関する専門用語や知識を理解できない。		
評価項目2	日本伝統文化がどのように形成されたのか、その大きな流れを理解し、説明できる。		日本伝統文化がどのように形成されたのか、その大きな流れを理解できる。		日本伝統文化がどのように形成されたのか、その大きな流れを理解できない。		
評価項目3	日本および青森県の伝統文化について、理解し説明できる。		日本および青森県の伝統文化について、理解できる。		日本および青森県の伝統文化について、理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
地域志向 学習・教育到達目標 A 学習・教育到達目標 C-2							
教育方法等							
概要	・日本史に関する専門用語や知識を習得する。 ・日本伝統文化がどのように形成されたのか、その大きな流れを理解する。 ・日本および青森県の伝統文化について、テーマごとに詳しく学ぶ。						
授業の進め方・方法	・講義を中心とした授業だが、積極的に発言を求める双方向型の授業を行う。 ・定期テストでは専門用語などの暗記よりも、時代の大きな流れを理解しておくことが重要である。 ・授業の最後に質問用紙を配布するので、質問事項や疑問点などを記入し教員へと返却する。						
注意点	・身近な歴史に関わるもの（例えば地元の伝統工芸品など）に対して、興味関心をもっておくこと。 ・「なぜ」、「どうして」という気持ちを大切にし、授業内容について分からなかったことは積極的に教員へと質問する。また、もっと知りたいと思ったことは自分自身で調べてみることも大切である。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス ―日本の伝統文化を学ぶ方法―		日本の伝統文化を学ぶ方法が理解できる。		
		2週	日本の城郭① ―織田信長の城郭―		織田信長造営の城郭について理解できる。		
		3週	日本の城郭② ―豊臣秀吉・徳川家康の城郭―		豊臣秀吉・徳川家康造営の城郭について理解できる。		
		4週	日本の城郭③ ―二条城と姫路城―		現存する二条城・姫路城について理解できる。		
		5週	日本の神社仏閣① ―神社建築―		神社建築および神社の概要を理解できる。		
		6週	日本の神社仏閣② ―寺院建築―		寺院建築および仏教文化の概要を理解できる。		
		7週	青森県の伝統文化		青森県の伝統文化について理解できる。		
		8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験		授業中の発言および質問用紙		合計		
総合評価割合		80	20		100		
基礎的能力		80	20		100		
専門的能力		0	0		0		
分野横断的能力		0	0		0		